

# 「学校関係者評価」の実施報告書

所在地 和光市下新倉 2-45-5

学校法人名 学校法人 大和学園

理事長名 理事長 大川浩史

電話番号 048-466-2080

## 様式 2

### 学校評価シート（自己評価）

新 倉 幼稚園

#### 1、園の教育目標

小学校就学までに必要なことを学び、適切な環境の中で、正しい生活習慣を身に付け、集団生活の中で、子ども達の健全な心身の発達を援助する。  
挨拶ができる、ルールを守れる、人の話を聞ける、自分の意見が言える、思いやりの心を持つ、何事も諦めずに最後まで頑張る子を育てる。  
園での自由遊び、集団生活、製作活動、行事活動、正課活動等を通して人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育てる。

#### 2、具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施することにより自己研鑽をし、教師一人一人が教育力を高め、客観的に幼稚園の実態や自分自身を見つめ、施設の改善や教育内容の充実に主体的に取り組んでいくことを目標とする。

#### 3、評価項目の取組及び達成状況

4…よくできている 3…できている 2…あまりできていない 1…できていない

評価項目	結果(※)
教育目標・教育方針	
① 園の教育目標や教育方針はわかりやすい。	3.5
② 園の教育目標が子どもたちの中に生きている。	3.4
③ 園の教育目標や方針について、園長や他の先生方と話をする機会がある。	2.9
④ 園の教育目標は、幼稚園教育要領の内容に沿ったものになっていると言える。	3.7
⑤ 園の教育目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	3.8
課題と取り組み	園長が非常勤ということ、預かり保育の増加により、先生同士での話し合いの機会が少なくなっている。限られた時間の中で、要点をまとめたコミュニケーションをとるように心がける。
教育目標・教育方針	
① 園の教育課程は、教育目標を生かして作られている。	3.5

②	子どもたちの年齢ごとの教育課程がある。	3.8
③	園の教育課程は、必要に応じて見直されている。	3.2
④	子どもの情緒の安定を図り、保育活動・健康教育・安全教育の指導をしている。	3.8
⑤	教材・教具を適切に活用している。	3.7
⑥	評価結果を基に、指導の改善に努めている。	3.5
課題と取り組み	年齢にあった教育課程がくまれている。ただし、さまざまな子どもの特性に応じて対応をしなければならないことがあり、個々への指導が今後の課題となってきた。	
<b>教育環境</b>		
①	幼児の動きや視線の動きに気を配った構成をしている。	3.8
②	幼児の思いや言動を参考にしながら、保育室の装飾や展示を考えている。	3.2
③	自然や社会とかかわりを持てるような体験(芋掘り、消防署見学など)を取り入れるようにしている。	3.9
④	環境の構成について、先生方の中で積極的に意見交換が行われている。	3.8
⑤	年齢の異なる幼児が、触れ合えるような環境構成をしている。	3
課題と取り組み	今年度より視覚支援をとり入れた環境作りをしている。保育室の装飾や展示については、子どもの気が散らないように少し、ボリュームダウンを行った。異年齢保育についてはコロナの影響後、すぐに復活させることが難しかった。異年齢の交流は今後徐々に復活させていきたい。	
<b>教育の内容・方法</b>		
①	教育内容や方法は、園の教育課程を基にして作られている。	3.4
②	幼児の家庭での様子を参考にしながら、援助の内容を工夫している。	3.7
③	園で動物を飼ったり植物を育てたりしている。	3.1
④	遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている。	3.7
⑤	幼児が意欲的に造形活動(描画・製作)をする時間を大切にしている。	3.4
⑥	食べ物についての話をする機会がある。	3.1
課題と取り組み	ルールを守ることは集団生活の中で自然と身につけていると思う。動物や植物を育てることにに関して、年間を通しては難しいが、夏場にカブトムシを飼ったりするなど、その時々で子どもの活動に沿って行っている。	
<b>教師の役割・資質向上</b>		
①	一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。	3.4
②	すべての幼児に平等に接するように心がけている。	3.6
③	その場にふさわしい言葉遣いができる。	3.2
④	幼児のモデルとなれるよう気をつけている。	3.2
⑤	保護者との信頼関係ができています。	3.3
課題と取り組み	子どもや保護者と良好な関係を築けている。言葉遣いや行動に関しては保育者がそれぞれフィードバックをしあったりする中で常に改善をすすめている。	

子育て支援	
① 保護者の子育てについての相談にのっている。	3.5
② 子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	3.2
③ 幼児のことについて相談できる専門機関がある。	3.1
④ 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っている。	3.4
⑤ 医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	3.3
課題と取り組み	子育ての悩みについては登降園の際などに聞き、適宜アドバイスなどを行っている。ただし、専門的な部分に関しては答えづらいこともあるが、そういったときには専門機関へ相談するよう促している。
地域住民や関係機関との連携	
① 地域の人々と親しく挨拶ができる。	3
② 地域の小学校の行事や公開授業を見学に行く。	1.9
③ 地域のお祭りや伝統行事に参加することがある。	1.3
④ 保護者だけでなく地域の人も行事に協力している。	1.4
⑤ 地域のお年寄りとの交流を大切にしている。	1.3
課題と取り組み	地域の人たちとの交流は、預かり保育の拡大や共働き世帯の方々の増加、職員の労働時間などの問題から難しくなっている。今後も地域の方と挨拶を交わすなどして、交流を図っていきたい。
運営管理・体制	
① 園児や保護者のことを園の外で話題にしない。	3.2
② 現金の管理は間違いのないように行っている。	3.8
③ 保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	3.7
④ 園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	3.5
⑤ 園内での役割分担がはっきりと決まっている。	2.9
⑥ 各種会議を適切かつ能率的に進めている。	2.9
⑦ 教職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく園の運営に関わっている。	3.4
⑧ 職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	3.7
課題と取り組み	預かり保育の充実とともに職員は増えたが、役割分担がうまくいかなかったりすることが多い。行事ごとの反省や、日々の保育の振り返りの中で今後改善に努めたい。
施設・設備	
① 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っている。	3
② 遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管している。	3.5
③ 不審者等に対応する周到的配慮を行っている。	3.3

#### 4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
<p>3.6 (できている)</p>	<p>保育者が園の方針を理解し、保育を行うことができている。一方で、子どもたちの特性も多岐にわたってきており、子どもの中で折り合いをつけながら活動に参加をするという場面も出てきている。集団と個々のバランスを取りながら、また、保育者間で連携を取りながら子どもにあった保育を行っていく必要がある。</p> <p>異年齢の交流がコロナ渦で滞っていたため、来年度以降は少しずつ復活ができればよいと考えている。</p> <p>今後、認定こども園化し、職員も増えていく中で、コミュニケーションが重要となってくる。日頃から職員間で話し合いや連携を行い、保育の質の向上に努めたい。</p>

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>保育者間の連携</p>	<p>今年度を通して保育者間の連携がうまくいかない場面が何度かあった。都度、話し合いをするなどしてきたが、立場の違いですれ違うこともあった。保育時間の延長で話し合いの時間がなかなか取れないことが多いが、要点をまとめるなどしてうまく連携が図れるように努めたい。</p>
<p>自己点検、自己評価</p>	<p>保育者は点検結果や自己評価について振り返り、今後の改善に努めていると感じるので、点検課題をある程度絞り、さらに課題を上げるようにして、今後の保育のより良い展開のために努力して行ってほしい。</p>
<p>コロナからの復活</p>	<p>新型コロナによる制限がとかれ、行事や日々の保育で制限していた部分を復活させることが今後の課題となっていく。</p> <p>復活にあたってはコロナ時のままでよいものがあると思うので、精査をしながら、保護者や保育者の負担にならないように設定していく。</p>

# 学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日 時 5年 4月 14日(金)

13:00~14:00 (1時間)

出席者 園長代理、主幹教諭、

評価委員（保護者代表4名）

## 自己評価の報告を受けて

- 評価項目はおおむね達成されており、保護者としてもとてもありがたい。
- 地域との関わりについては、預かり保育の拡大に伴い、難しくなっているので項目を変更しても良いのではないかと感じる。
- 自己評価については少し厳しめな先生もいるようだが、それだけ子どもたちのことを考えて保育をしてくださっていることをとてもうれしく思う。
- 遊具の点検に関しては、子どもの命に関わる大切なところなのでもう少し気を使ってもらいたい。

## 今後取り組むべき課題について

- 取り組むべき課題については適切だと思う。
- コロナで変わったところがたくさんあるが、改善された部分も多いと感じる。運動会や遊戯会の開催方法は今のところ満足している。
- 異年齢の交流に関しては取り組んでいただけるとありがたい。

## その他

- 幼稚園にとって、保護者や地域の方からも様々な意見があり、大変そうに感じる。先生たちには日々感謝をしているので、無理のないようにしてもらいたい。
- こども一人一人を大切に保育していただいて感謝している。
- 認定こども園になって保育園枠ができたことにより、今後どうなっていくのか心配。